

# 樽前山

## 1 概況

火山活動はやや活発な状態が続いています。

A 火口やB 噴気孔群ではこれまで同様高温の状態が続いています。

噴煙はやや少なく、火山性地震も少ない状態が続いています。

## 2 噴煙の状況

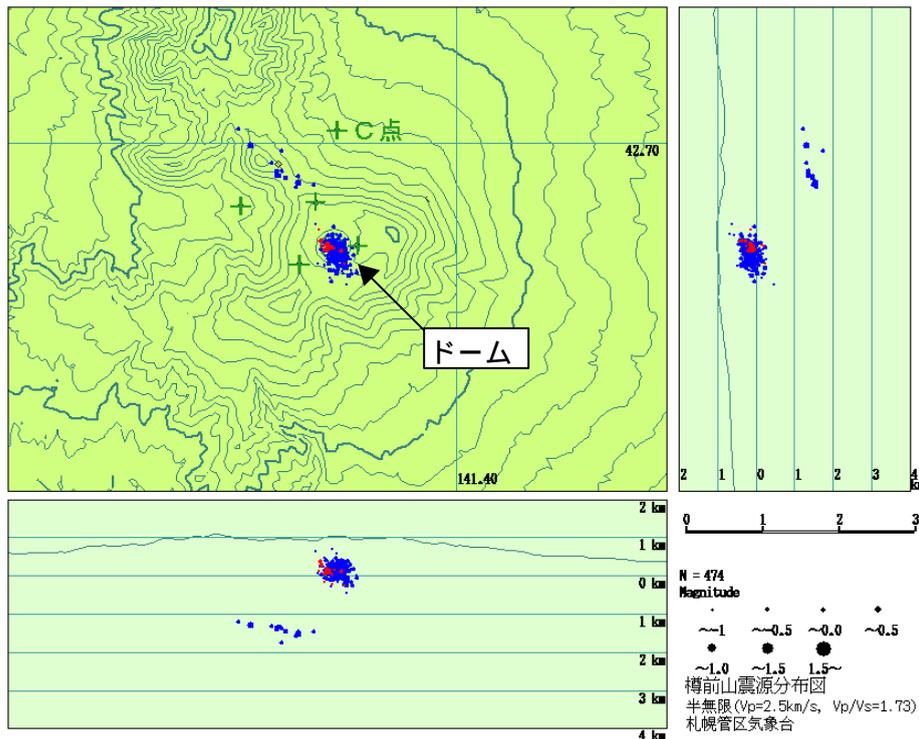
今期間の各火口の噴煙の状況は前期間と大きく変わらず、噴煙の高さは火口縁上おおむね 100m以下で推移しました。

## 3 地震および微動の発生状況

今期間の火山性地震の回数は 1 日あたり 0~6 回で、今年 1 月以降少ない状態が続いています。火山性微動は観測されませんでした。

地震・微動の月回数 (C 点)

2003~2004年	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
地震回数	54	73	113	151	283	58	37	10	19	77	34	44
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

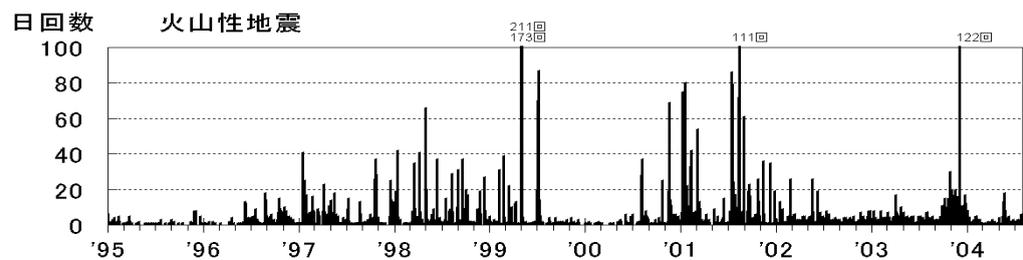
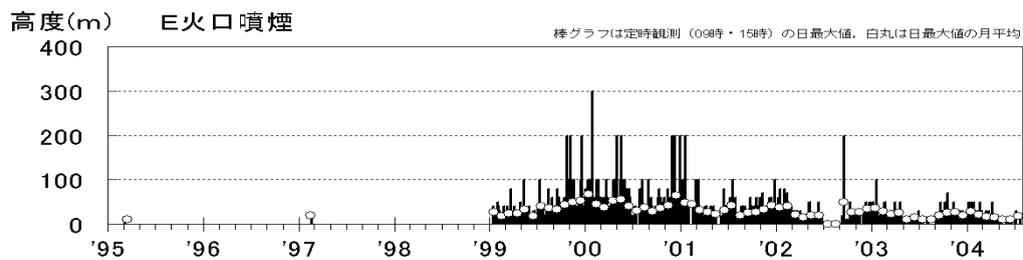
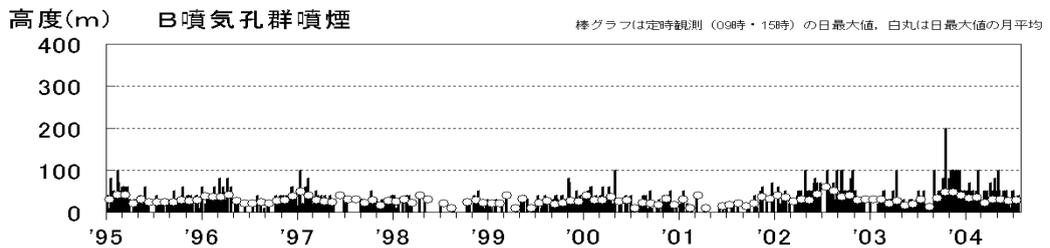
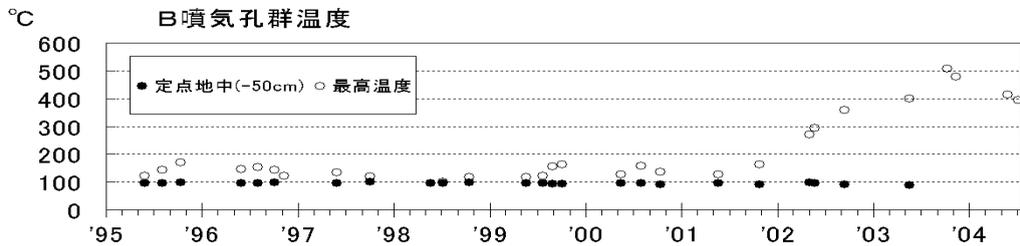
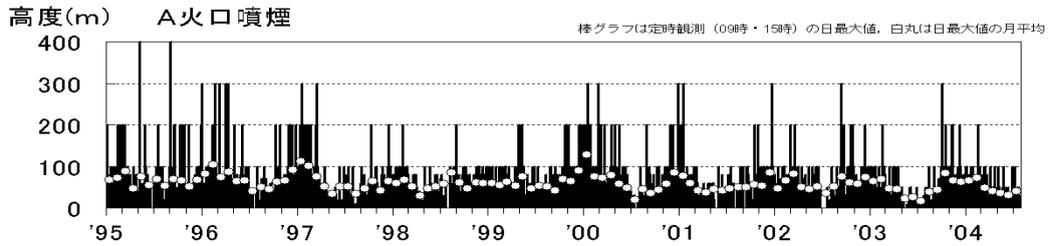
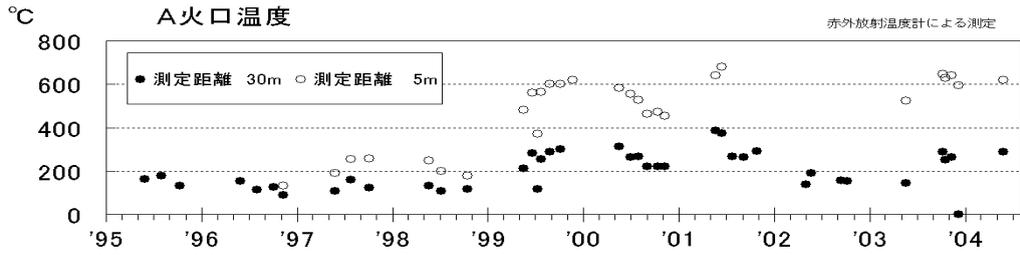


樽前山の震源分布図 (丸印：震源、+印：地震観測点)

今期間 (2004 年 7 月 1 日~7 月 31 日) に求まった震源を示しています。

青丸は前期間までの 11 か月間 (2003 年 8 月 1 日~2004 年 6 月 30 日) に求まった震源を示しています。

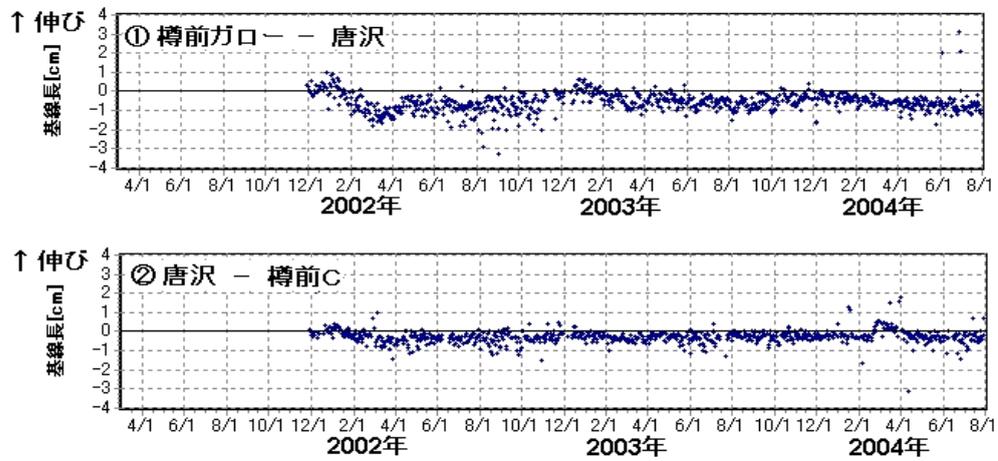
過去の震源分布はほとんどが山頂ドーム直下の浅部 (海拔付近) に集中しています。ドームの北西約 1.5km 付近に見られる震源は、十勝沖地震後の 2003 年 9 月 28~29 日にかけて一時的に発生した地震です。



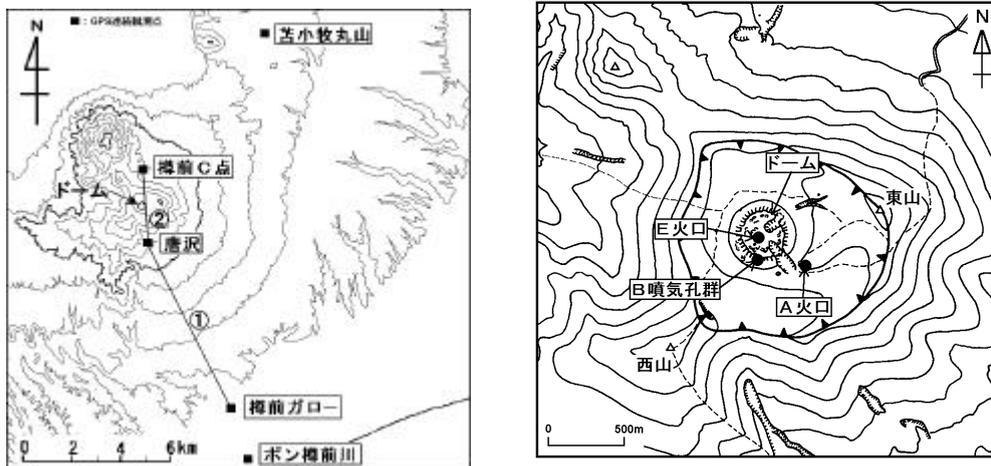
最近の火山活動経過図(1995年1月1日~2004年7月31日)

4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、火山活動に関連すると考えられる変動は認められません。



基線長変化 (2001年11月14日 ~ 2004年7月31日)



5 その他

産業技術総合研究所が7月3日に行った観測によると、各火口の温度はA火口で約690、B噴気孔群で約400と高温状態が続いていました。